

あいち山村振興ビジョン

年次レポート 2014

～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築 状況報告～



「おやまのアイス」と「三河の山里ふるさとキッチン」PR（3月13日）



花祭シンポジウム
(名古屋市博物館：11月2日)



2013 生物多様性セミナー
(茶臼山コース：8月10日)

平成26年6月

目 次

第 1	作成の趣旨	1
第 2	2013 年度の主な取り組み状況	
1	将来像に向けた施策展開の基礎となるインフラ整備	4
2	将来像に向けた施策展開を強化する連携の促進	5
3	重点的に展開する施策	
(1)	安心安全な暮らしを支える生活環境の充実	8
(2)	小規模高齢化集落への対応	13
(3)	交流居住の活性化によるU I J ターンの促進	14
(4)	通勤圏における産業集積の促進	16
(5)	観光・特産品振興による地域ブランド力の強化	19
(6)	農林水産業の振興と多面的機能の維持・向上	25

第1 作成の趣旨

三河山間地域は、人口の減少や高齢化の進展など厳しい状況にある一方、平成24年には三遠南信自動車道や新東名高速道路の一部が開通するなど、この地域の条件を大きく変化させる可能性を秘めたプロジェクトが進展しております。

さらには、農山村に対する関心の高まりなど、この地域に活性化の機会をもたらす時代の潮流も認められます。

県では、こうしたプロジェクトの効果や時代の潮流の変化から生み出されるチャンスを最大限に受け止め、地域の活力を再構築するため、三河山間地域の長期的・総合的な振興の指針となる「あいち山村振興ビジョン～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築～」(平成21年3月)を策定し、2025年(平成37年)までを展望したうえで、4つのめざすべき将来像を設定しました。そして、これらの将来像を実現するため、2015年(平成27年)を施策展開の目標年次として、県が重点的に展開していく6つの施策の方向性を明らかにし、具体的な施策展開を行っています。

この施策の展開にあたっては、地域住民はもとより、企業、大学、NPO、ボランティアの方々など様々な主体との多層的な連携並びに都市地域を含む広域的な連携が不可欠です。

そのため、ビジョンに位置付けた施策の2013年度の主な取組状況をまとめた「あいち山村振興ビジョン 年次レポート2014 ～緑が生きる豊かな山の暮らしの構築 状況報告～」をホームページを通じて情報発信し、多層的、広域的な連携主体と情報の共有や認識の統一を図ってまいります。

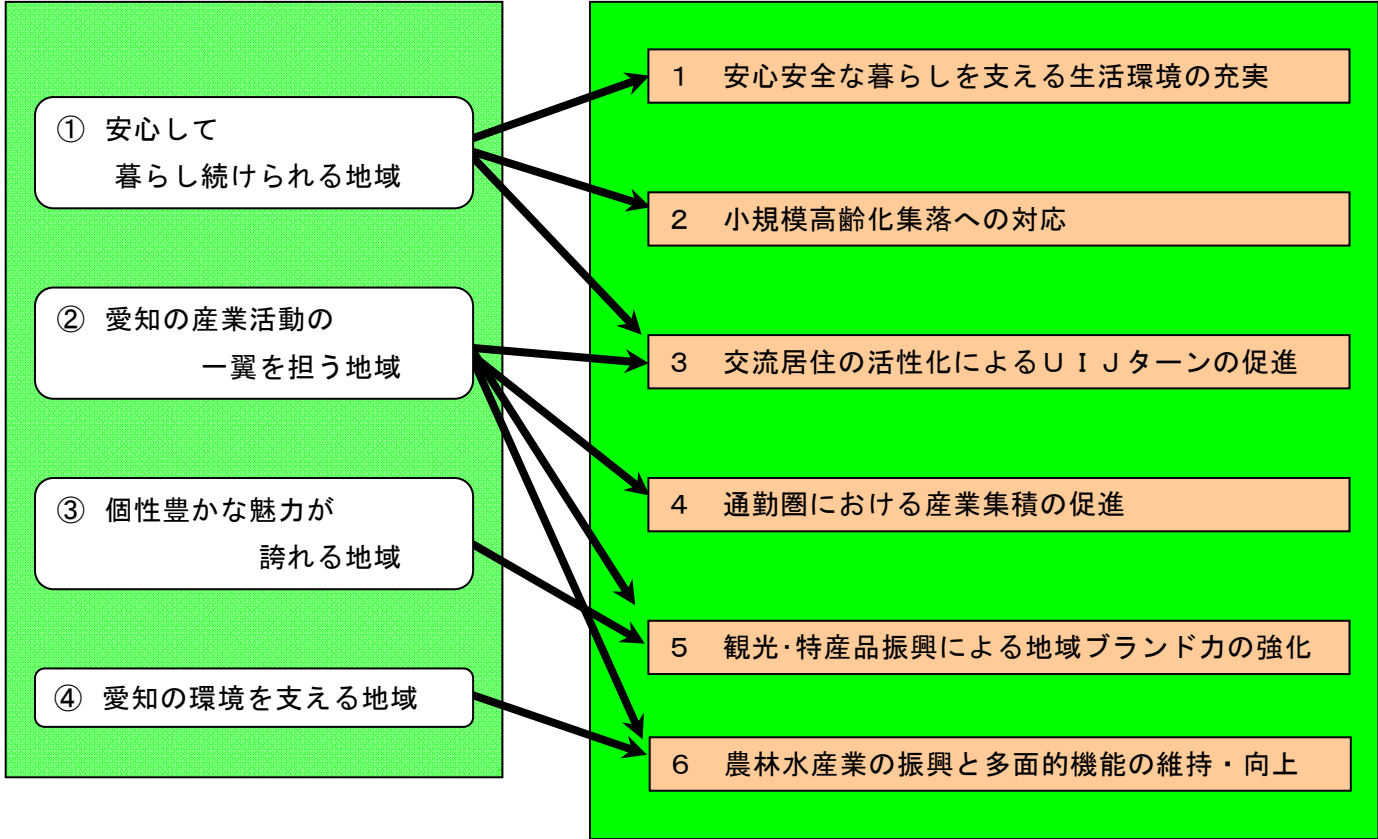
ロビジョンの対象地域



めざすべき将来像と重点的に展開する施策

[めざすべき将来像]

[重点的に展開する施策]



<p>施策展開の基礎となる インフラ整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高速道路など大規模プロジェクトの整備促進 ■ その事業効果を広域的に波及させ、地域のポテンシャルを引き出す道路の整備促進 	<p>施策展開を強化する 連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 都市地域を含む広域的連携の促進 ■ 企業、大学、NPOなど多層的な連携の促進
--	--